

雨に強い安全で安心して暮らせるまちづくり！

- 運転開始後20年が経過し、老朽化が著しい中央ポンプ場の長寿命化対策が必要。
- 長寿命化対策を伴う改築・更新により、適切な機能確保とライフサイクルコストの最小化を図る。
- 浸水被害が減少するなど浸水安全度の向上により、定住人口増加に寄与。

中央ポンプ場整備状況

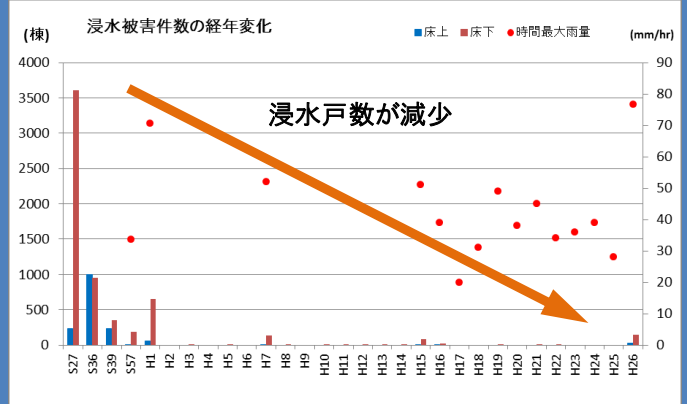


関西国際空港

中央ポンプ場
(H28改築更新事業着手)

- ◆ ポンプ排除区域内の浸水被害件数が減少
- ◆ 道路冠水被害を解消し、交通機能を確保
- ◆ 浸水安全度が向上し、良好な都市基盤が構築

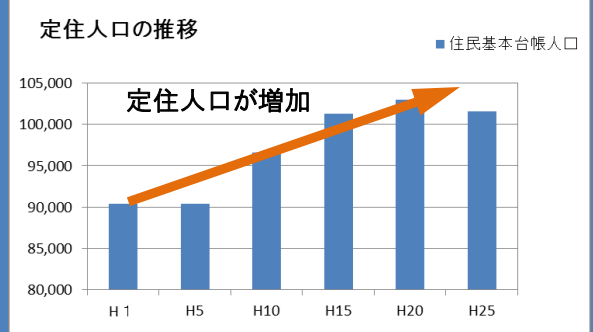
浸水被害の状況



中央ポンプ場
平成6年4月供用

- 平成元年9月大雨
時間最大雨量 71mm
総雨量 207mm
- 平成26年10月台風
時間最大雨量 77mm
総雨量 173mm

定住人口(住民基本台帳人口)の推移



◆ 浸水安全度の向上により良好な都市基盤が構築され、市域人口は約1万人以上(約12%)増加

- 平成元年 90,428人
- 平成10年 96,577人
- 平成20年 103,012人
- 平成25年 101,554人